

開講番号	H8-430
管理コード	13696
対象学生	大児 4
科目名	児童学演習Ⅲ
開講日程(学期・曜日・講時)	後期 火曜日 2講時
担当者	深見 友紀子
単位数	2

*このシラバスは記入対象外です。			
副題	音楽・子どもに関する卒業論文をまとめる		
授業概要(到達目標)	子どもと音楽に関するさまざまなテーマを自ら設定し、研究し、卒業論文としてまとめることを通じて、研究論文作成の手続きを習得するとともに、子どもと音楽に対する問題意識を深める。		
授業方法	※入力必須項目です。		
	各自が取り上げたいテーマを決め、ゼミ生同士で相互評価をしたり、刺激を受け合ったりするなかで、自らの研究範囲や方向性、研究方法を軌道修正しながら確定し、各章を書き進め、論文としての体裁を整えて完成させる。集団ゼミと個人指導を織り交ぜ、e-mailによる添削も行う。		
授業計画	※入力必須項目です。		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏季休暇中の研究経過報告(1) 2. 夏季休暇中の研究経過報告(2) 3. 論文中間発表 4. 章立て、論文構成の確定 5. 論文完成に向けて不十分な項目に対するアドバイス(1) 6. 論文完成に向けて不十分な項目に対するアドバイス(2) 7. 草稿の提出 アドバイス 個別指導で対応(1) 8. 草稿の提出 アドバイス 個別指導で対応(2) 9. 草稿の提出 アドバイス 個別指導で対応(3) 10. 論文の全体構成の調整、引用文献の書き方他 11. まとめにに向けて 各章の提出(1) 12. まとめにに向けて 各章の提出(2) 13. まとめにに向けて 各章の提出(3) 14. 論文の推敲、完成、最終調整(1) 15. 論文の推敲、完成、最終調整(2) 【授業計画は適宜変更する可能性がある。】 		
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	受講態度・意欲	20	授業に対する明確な目的や心構えができており、主体的に学ぼうとする姿勢がみられるか。
	資料収集の状況	15	各自の卒論のテーマに関して、意欲的に資料収集を行っているか。
	観察・実践、現場調査の状況	15	各自の卒論のテーマに関して、意欲的に観察・実践、現場調査を行っているか。
	論文の完成度	50	オリジナリティが高く、仮説から考察、検証への流れがスムーズであり、説得力のある日本語で書かれているか。
学生へのメッセージ	※入力必須項目です。		
	<履修上の注意> 教育実習、就職活動などとのバランスを図りながら卒論執筆に最大限の努力すること。		
教科書	特になし。		
参考書	「書名」 著者名 出版社 出版年 の順に記述してください		
	適宜指示する。		
	「書名」 著者名 出版社 出版年 の順に記述してください		